

COOP-JOSO News Letter

2020年3月1回号 発行/常総生協広報G

2019年度活動テーマ「JOSO食材でかんたん・うちごはん」

高橋徳治商店 高橋英雄社長より

東日本大震災から9年。

<被災地に灯りっこを、自ら光になる>



練り物が生き物のように息づく。そんなバカなことを考えています。なぜ息づくのでしょうか？無添加だから素材が生きてる。日々の事務所のスタッフも含めた試食・検査と製造部門の震災後2700日を超える格闘の食品だから。組合員の皆さんが、ただ「美味しいい〜」という以上の何かを感じてるから。素晴らしいと言われる練り物や冷凍食品を作る当社のスタッフの人間性まで込めて作っているから。この被災地でどんな会社になるか、どんなことを考えている会社か、もっと知ってもらえると練り物が組合員皆さんの心に届き商品自体の息づきをもっと感じられ、沢山の気づきを・・・そんなことを夢見ている被災生産者なんです。

◆3.11大震災から9年、沢山のことを教えられました、

今も学び続けています。被災地は「日本の課題が凝縮している」と言われ、格差・貧困・心の病・高齢化や過疎化・児童虐待やDV・日本一の不登校・引きこもりも多いこの地です。今だけ、自分だけ、お金だけと時間当たり生産性が低い人や働かない人は不要だと弱者を見下し構っている暇はないと。生産者さえも余剰、規格外で安いからさっさと農産物をすき込み市場経済に飲み込まれ、生産物は換金の道具になり果ててしまっているのは悲しい現実です。

◆震災から二年目

「この地で力になり笑顔になり自ら光になります」とたった30名でも当社のスタッフが皆さんの前で誓った新社屋落成式、あれから7年になろうとしています。翌年の新年会では、「みんな、本当に公私とも頑張ったな〜、アリガトウ」って涙を流した私が顔を上げた時、スタッフ全員の目が潤んでました。私たちは人の痛みを我がことと感じ笑顔に満ちた会社になり、それぞれの家庭やその近所に笑顔を広げる光になろうと歯を食いしばってきました。

◆そして2年前

無謀にも再び借入をして野菜加工場を作りました。地域の引きこもりの若者たちの心に寄り添い時間生産性を脇に置いて8名の就労を成し遂げました。自分たちが元気になり、気づき、考えるスタッフが出てきたんですよ。生活弱者は私たちを映す鏡なんです。3つの工場が全壊被災したのに何を夢見てるとも言われますが、心あるスタッフになるんだと、事業と思いのハザマで揺れながら悩み迷いながら、心ある組合員に共感と気づきと思いを送り「恩送り」を続けてるんです。



◆あの時の遺体とヘドロと破壊、悲嘆と絶望の中で

自ら笑顔と光になることは大変なことです。大切なこと・大事なことをしっかり抱え、いつも反芻しながら手を取りゆっくり一歩ずつ一歩ずつ、それが当地で「あかりっこ(小さな灯り)」が広がることを夢見て。

株式会社高橋徳治商店 代表取締役 高橋 英雄

役職員による ～あれから9年東日本大震災と福島第一原発事故を振り返って～

所属	名前	東日本大震災の時の様子	福島第一原発事故の時の様子
理事	中丸晴子	放射能大丈夫か	しばらくは危険に鈍感でした。
理事	塩見直子	家族の安否がしっかり確認できるのがまず大切。 うちが古い木造住宅なので怖くてお隣の家に一晚泊してもらった。 夫が仕事で帰宅できないし小さい子どもがいて心配なところを一緒にさせてもらえてとても心強かった。 その後もお隣さんや友人達から色んなことを教えてもらった。 何かあると人との繋がりが有難く思う。 日頃からお付き合いをしておくことは大切だと思う。	子どもを外で遊ばせて良いのか不安だった。 知人の研究者に聞いたりして友人達と情報共有した。 夫と相談し事態が落ち着くまで実家に帰ることにした。 原発は元々反対だったけど今は更に経済をどういう風にしていくのか、方向性を変えていくことが必要。 エネルギーは小さく作って小さく使うのがいいと思う。
物流・電算システムG	萩原 一禎	供給が終わり、本部への帰り道、線路と平行の高架道路を走っていました。線路脇の電柱が飴のように曲がって揺れていて、地震と気付きました。高架道路を走っていたため、阪神淡路大震災の起きた高速道路が倒れた画像が頭の中を過ぎ、急いで高架道路を降りたのを覚えています。	供給中に、組合員から教えてもらったが、原発に関する知識がなかったため、危険という認識が無く、普通に供給していました。 原発の危険を発信し続けること、今後原発を稼働させないこと。
供給部	丸山 潔	震災当日は生協本部におりました。建て替え前の古い建物です。揺れがだんだんと強くなり、ガスの元栓をしめ玄関ドアを開けに行ったところで本格的な揺れがきて一歩も動けなくなりました。2階フロアの重い事務机がまるでキャスターがついているかのように動き回っていました。本当に古い建物だったので揺れている最中に「これは建物が持たないかな」と思いましたが、梁が一か所落ちただけで何とか済みしました。幸いにも設備機器に大きな損害が出ず、停電も無かったので余震が収まり、片付けをした後は業務を再開する事が出来ました。供給メンバーも全員無事に供給業務を終え戻ってきて、震災当日を終えました。 なんとか自分達の業務は回せるという事で、翌金曜日からは東北への支援に入りました。津波の被害を受けた現地の言葉では表せないほどの状態に絶句しました。そんな中で常総生協の生産者の方々の前を向いている姿にこちらが勇気をもらいました。 宮城、岩手、福島へは何度も支援に向かいましたが、支援の手がなかなか届かない地域がほとんどの中、仙台などの都会は復興特需で町が賑わっている姿に、とても違和感を覚えました。 今後も近い将来に日本のどこかで同じような震災が来ると思います。本当に困っている人に救いの手が届くよう、一人一人が考えないといけないと思いました。	原発の危険性については学生時代から関心を持っていました。スリーマイル島の原発事故があったのが15才の時、広瀬隆さんの「東京に原発を」も当時読んでいました。チェルノブイリもありながら、社会人になってからは日々の忙しさの中で原発についての注意は薄くなっていました。何か自分で行動したという事は全くありませんでした。 福島第一原発事故が実際に起きた時は「信じられない、信じたくない」という気持ちと「やっぱり」という気持ちと両方だったと思います。プレート境界の上にある日本に原発は危険過ぎます。核廃棄物の問題もあります。原発は絶対に動かしてはいけないと思います。自分一人で出来る事は大した力ではないかもしれませんが、やれる事はやっていきたいと思っています。

2020年2月の予定

○生協基幹運営/地域活動・催し●	○提携・協同・連帯企画●
○「常総っ子応援団」 毎週木曜日に外遊び活動しています。試食会(親子煮炊き会)は2/27(木)開催です。 2/22(土)歴史を学ぼう～未来のために(常総生協 会議室) みそ作り講習会(柏・松戸) 2/23(日)みそ作り講習会(我孫子)(守谷) 入管見学会事前勉強会(常総生協 会議室) 2/26(水)定例理事会	2/23(日)茨城有機農業研究会の集い 2/26(水)茨城県生協連 適格消費者団体立ち上げ準備会 2/27(木)食品表示法学習会(土浦) 2/28(金)生協NW21品質管理者担当者会議(東京)

●今年もみそを仕込みました！

今年も子供たちと味噌を仕込みました。毎年いつも思いますが、蒸し大豆を温めた時の香りが素晴らしい！ひとしきりお豆をそのまま食べてから((笑))つぶす作業に入ります。いつもありがとうございます。

(柏市 Iさん)



ご意見ありがとうございます。今年もみそ用大豆はおきたま興農舎(山形県・置賜市)の伝統品種の青大豆「秘伝(ひでん)」です。青大豆らしい香り、また甘みが強く、他の組合員さんからも「蒸し大豆の味が良い」「そのまま煮豆して食べてしまった」など好評をいただいております。きっと美味しい「みそ」として出来上がるかと思ひます！

※写真上段は生産者の小林温さん

です。

(商品部 小宮山)



●柑橘が美味しい！

天草エクセレント、紅まどんなも美味しいですが屋久島のタンカンも食べたい！数年前にマルエツで購入以降見かけないのです。

(取手市：Sさん)

ご意見ありがとうございます。天草エクセレント、紅まどんな共にシーズンが終了してしまいました。屋久島タンカンですが、2月～5月まで企画予定です。ぜひご利用ください。

(商品部 小宮山)

●鮮やかな色に驚き！

「採ってそのまま生ワカメ」を注文しましたが、塩蔵わかめとは全然違う食感と味でとってもおいしかったです。サッと湯通しした時の鮮やかな色も驚きでした。



(牛久市：Hさん)

ご意見ありがとうございます。採ってそのまま生ワカメは3月2回まで企画予定です。ぜひ旬の味をお楽しみください！

(商品部 横関)

3/20（金）さようなら原発全国集会 お手伝いさん募集！

常総生協と、東海第二原発運転差止訴訟団で共同で出店します。毎年春と秋に参加しています。是非、ご協力の程宜しくお願い致します。

【ブース内でやる事】

- 1) 原発関係の書物の物販
- 2) 東海第二原発運転差止訴訟団の賛同人募集
- 3) 生協商品（パン、飲み物等）の販売

【集合時間】

□ 搬入からお手伝いできる方

現地集合（東京都江東区亀戸中央公園 A地区※出店場所はA地区です。）9：00
生協集合（生協から一緒に行く方）7：30

□ 途中からお手伝いできる方

参加できる時間帯を教えてください。

-----キリトリ-----

3/20（金）さようなら原発全国集会出店ブースお手伝いします。

※3/13（金）締め切り

お名前：_____ 組合員番号：_____

行き方：自分で現地に直接行きます。・ 生協から一緒に行きます。

※○をつけて下さい。

お手伝い時間：_____ 時 _____ 分 ~ _____ 時 _____ 分までお手伝いできます。

2020/3/20さようなら原発全国集会 お手伝いさん募集！



理事会よもやま通信

常総生協はみんなの「ほしい！食べたい！知りたい！」を応援します

発行 常総生活協同組合理事会

TEL0297-48-4911

FAX0297-45-6675

それってどうなの？ ゲノム編集の「いま」

最近、「ゲノム編集で肉厚の鯛ができました！」なんていう特集を、ニュースで見たとこでした。その鯛、食卓に並ぶの？なんて疑問に思っていたところ、タイムリーに日本消費者連盟主催による講演会、「ゲノム編集ってなあに？」が、生協本部で開かれることを知りました。講師はフリージャーナリストの天笠啓祐先生。ゲノム編集について詳しく学べる、興味深い講演会となりました。

まずは「遺伝子組み換え」と「ゲノム編集」の違いについて伺いました。簡単に説明すると、「遺伝子組み換え」とは、ほかの遺伝子を追加する技術で、「ゲノム編集」とは、特定の遺伝子の働きを壊す技術のこと。ゲノム編集は酵素を用いてピンポイントで遺伝子を壊すため、昔ながらの品種改良などとは違い、簡単に目的の操作が可能だそうです。

作物では、現在はアメリカでゲノム編集された除草剤耐性ナタネ、高オレイン酸大豆が市場流通しています。高オレイン酸大豆はファストフード店、飼料用としても流通。「遺伝子組み換えでない」をうたっているそうです。ジャガイモも、加熱時に出る発がん性物質低減と、打撲時の黒ずみ低減を目的としたゲノム編集が行われています。しかしジャガイモの植物としての病原菌に対する防御能力が弱まったり、通常のジャガイモにはない毒素があったりと、何かの弊害が出てきているようです。

日本も昨年の10月1日に一部の作物の輸入を解禁。規制は極めてゆるく、食品表示も任意なので必要ありません。

動物はどうでしょうか？動物でも、卵アレルギを起さない鶏、角のない乳牛など様々なゲノム編集が行われています。聞いただけなら便利そう！なんて思っています。角のない乳牛には抗生物質耐性遺伝子が3種類見つかり、アメリカからブラジルへの大規模導入計画が中止になったそうです。

またついに人間でも、中国でゲノム編集された赤ちゃんが3人生まれました。目的は父親のHIVが感染しないためでしたが、やはり弊害が発生。赤ちゃんたちはウイルスに感染しやすく、脳の認知機能に影響があること、短寿命化することなどもわかってきました。これらの事例を聞いて思うことは、一見便利そうに見えるゲノム編集ですが、一つが壊れると何かまた壊れるということ。壊してよい遺伝子などないということを実感しました。最近中国でも規制に動き出している模様。日本も早急に何らかのルールを作るべきと感じました。

講演会中に天笠先生が笑顔でおっしゃった言葉、「人間の遺伝子は誰しもどこかでこわれている」が心に残りました。誰しも何か良いところがあり、悪いところもある。そんな多様性を自然に平均化してきたのが「遺伝」であり、その中で自然に生きてきたのが人間なのではないかと感じました。

レム睡眠を起こさないようにゲノム編集されて、夢をみないネズミが作られているそう。夢を見ない生活なんて、皆さんも味気ないと思いませんか？（中山）

みそづくり みなさんはいかがですか？

今年も味噌づくり講習会が開かれます。2/15（土）のつくばみらいの会には、10家族、約30名の方が参加されます。2/23（日）には守谷市の生協本部でも開催！各地で行いますので、是非お友達も誘って近くの講習会にいらっしゃってくださいね。手前みその最大の魅力は、やはりその味！一度作ってみるとそのおいしさがわかります。そのおいしさを知ってしまった我が家は、今年はホーローの容器2つに仕込みました！



「ゲノム編集ってなあに？」講演会で講師をくださった天笠啓祐さんが熱く語ってくれました。

『理事会よもやま通信』へのご意見・ご感想は、OCR用紙の「意見・要望・連絡欄」、ネット注文の方は「ご意見のページ」にご記入をお願いいたします。